



平成 27 年 2 月 16 日

各 位

会 社 名 セーラー万年筆株式会社
代表者名 代表取締役社長 中島 義雄
(コード番号 7992 東証 第二部)
問合せ先 取締役管理部長 比佐 泰
(TEL 03-3846-2651)

平成 26 年 12 月期業績予想と実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社が平成 26 年 10 月 31 日に公表しました平成 26 年 12 月期（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）連結業績予想値および個別業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

平成 26 年 12 月期通期連結業績予想数値と実績との差異（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 6,265	百万円 80	百万円 △50	百万円 18	円 銭 0.16
今回実績（B）	6,172	△91	△238	△209	△1.84
増減額（B－A）	△93	△171	△188	△227	—
増減率（％）	△1.5	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 25 年 12 月期）	5,525	△287	△311	△359	△5.58

平成 26 年 12 月期通期個別業績予想数値と実績との差異（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,695	百万円 △125	百万円 0	円 銭 —
今回実績（B）	5,656	△219	△148	△1.30
増減額（B－A）	△39	△94	△148	—
増減率（％）	△0.7	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 25 年 12 月期）	5,365	△323	△428	△6.66

1. 業績予想に差異が生じた理由

新製品の市場投入遅れ等により売上高が減少した結果、販管費比率が増加し利益を圧迫しました。また、連結子会社「写楽精密機械（上海）有限公司」の売上不振が予想以上に厳しく、更に中国における在庫の特価販売などにより営業利益、経常利益が減少しました。

売上高は前回発表予想を連結は 1.5%、個別は 0.7%下回ることとなり、利益面におきましては、特別損失として 50 百万円（個別決算 53 百万円）の計上などあり、連結当期純利益が△227 百万円、個別当期純利益は△119 百万円となる見込みです。

2. 特別損失の計上

連結子会社「写楽精密機械（上海）有限公司」の清算手続開始及び大阪事業所の移転決定（平成 27 年 2 月 23 日移転）に伴う事業構造改革費用として事業整理損 29 百万円（個別決算 32 百万円）、投資有価証券評価損 20 百万円を特別損失として計上いたします。

なお、連結子会社「写楽精密機械（上海）有限公司」につきましては、平成 27 年度中に清算結了する予定であります。

以上